黒部市制施行15周年記念　市民憲章普及啓発企画

[○○×わたし]

農ライフ × わたし

伝統の味 × わたし

デュアルライフ × わたし

安心できる暮らし × わたし

日本とは × わたし

黒部市民憲章

わたしたちの黒部市は、黒部川の源流北アルプスから富山湾にいたる、緑ゆたかな名水の里です。その清らかな水と肥沃（ひよく）な扇状地は独自の歴史と文化、産業を育（はぐく）んできました。かけがえのないこのふるさとを誇りとし、さらに発展させるため、わたしたち市民一人ひとりがまちづくりの主役となりましょう。

わたしたちは、

一、 水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくります。

一、 伝統に創意をかさね、個性のあるまちをつくります。

一、 働くことを喜びとし、活力のあるまちをつくります。

一、 思いやりの心を大切にし、温（ぬく）もりのあるまちをつくります。

一、 世界の人々と交流を深め、魅力（みりょく）のあるまちをつくります。

黒部市制施行15周年の節目のいま、
若きトップランナーにご自身を重ねていただき
黒部で生きる　わたしたちの暮らし
いまいちど、見つめ直してみませんか？

KUROBEST PERSON クロベスト〈人物編〉
黒部市制施行15周年記念
市民憲章普及啓発企画［○○×わたし］

企画・発行／黒部市教育委員会
〒938-8555 富山県黒部市三日市1301 TEL(0765)-54-2764
制作／(株)すがの印刷・(株)スターゲイト新川

15th anniversary KUROBE

守り育て、未来へ

黒部市
市制施行15周年記念

市民憲章
普及啓発企画

広報くろべ特別連載
［○○×わたし］

File No. 01

一、水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくります。

黒部市は、北アルプス連峰を背景とし、黒部峡谷、扇状地、湧水群、富山湾など、多彩な自然環境に恵まれています。わたしたちは、これらの自然と共に生きることに誇りをもち、水と緑の保全に努めて、うるおいのあるまちを目指します。
［自然との共生、環境の保全］

［農ライフ×わたし］

農業経営

能澤（のざわ） 喬之（たかゆき）さん・未菜（みな）さん

8年前、おじいさんが遺した田んぼを
20歳の未菜さんが1人で受け継ぎました。
一緒に支えてあげたいと、
県外からUターンした喬之さんがそこに加わり、
地域のつながりを生かして、2020年2月に株式会社を設立。
コシヒカリのほか、大豆・そば・人参・トマトを栽培。
米は直播きと苗を組み合わせて
長く収穫できる工夫をしています。

採れたてトマトをガブリ!!

未菜さんに宿る新たな命が8月に!!

想いを受け継ぐ

「私が農業をすることになったんは、じいちゃんの壮大な作戦やったんかもしれません(笑)。」と未菜さん。「元気な時は、孫の私や妹に田んぼを手伝わせるようなことはしなかったんです。それが亡くなる前に、農業をやってきた自分の人生のことを話してくれて。大きな苦労があったことも、そこで初めて知りました。それを聞くと、絶やすことはできないなと。」笑顔で当時を振り返ります。

未菜さんと出会った時、喬之さんは勤務先の大手建設会社の配属で栃木にいました。継いだ田んぼで1人奮闘する未菜さんの姿に、一緒に支えてあげたいと思うようになります。当時、大きな仕事を任されていたこともあり、自分のキャリアを途中で変えることにはもちろん迷いもあったと言います。それでも、喬之さんは2017年春、農業をしながら、未菜さんと家族として過ごす生活を選びます。優しい口調の中で「黒部市の農業を盛りあげたい」という心意気を語りました。

ベテラン農家の「任せるわ」

とはいっても、喬之さんも未菜さんも農業は初心者。何でも2人で頑張ってきましたが、第一子が生まれると、喬之さんが1人でせざるを得ない場面も多々あったと言います。

個人経営の課題も痛感していた頃、ベテラン農家2軒と共に6人で会社を立ち上げることになり、「代表は若い世代任せるわ」との声に喬之さんが社長に就任しました。

「ベテラン農家がノウハウを惜しみなく教えてくれ、やりたいことを尊重してもらえる。休まざるを得ない時、仲間がいる。また自分のペースで追求できる。『任せるわ』のひと言は、個人経営や都会の会社員時代にはない魅力でした。」と法人化のメリットを噛み締めます。

水と緑をつなぐ

5月19日、村椿小学校の児童が「コシヒカリ」の田植えを体験しました。この取り組みは、喬之さんがJAくろべ青壮年部として、子供たちに農業の楽しさを体験してもらおうと実施。子供たちは手植え体験後、田植え機のスピードに驚いたり、見慣れない田植え機に乗ることができて、楽しそうだったとのことです。

会社を設立して2年目。黒部のおいしい食と未来を担う子供たちのため、水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちづくりを実践する、注目の若き農業経営者です。

「黒部のお米」おいしさの秘密

①恵まれた地形 ‥‥ 猛暑の夏でも冷たくミネラル豊富な立山連峰の雪解け水が米の品質低下を防いでいます。また、川越しに吹く北風「あいの風」が田んぼの中を換気し、稲の病害を低減させてくれます。
②農家の取り組み ‥ 品質向上のための、5月15日を中心とした田植の実施・水管理を市内農家のみなさんで徹底する取り組みを行っています。
③土づくり対策 ‥‥ 全国初の「流水客土」などにより整備された農業基盤を大切にし、現在は水田の地力維持のため、土づくりにこだわっています。

黒部市民憲章

一、水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくります。
一、伝統に創意をかさね、個性のあるまちをつくります。
一、働くことを喜びとし、活力のあるまちをつくります。
一、思いやりの心を大切にし、温(ぬく)もりのあるまちをつくります。
一、世界の人々と交流を深め、魅力(みりょく)のあるまちをつくります。

既成概念を超えていく

［伝統の味×わたし］

黒部市
市制施行15周年記念

市民憲章
普及啓発企画

広報くろべ特別連載
［○○×わたし］

File No. 02

一、伝統に創意をかさね、
個性のあるまちを
つくります。

黒部市は、固有の文化と歴史を育んできました。伝統に新たな創意が加わるとき、まちの味わいは一段と深まります。現代に生きるわたしたちは、先人の知恵と技術に感謝しつつ、より一層研さんに努め教養を深めて新たな文化を創出し、個性のあるまちを目指します。［伝統の継承、文化の創出］

蒲鉾（かまぼこ）製造業経営

中陳（なかじん） 新平（しんぺい）さん

石川県出身。学生時代を北海道で過ごし、
県内企業に就職、広告関係の営業マンを経て、
2008年、縁あって生地（いくじ）で蒲鉾づくりに携わることに。
「蒲鉾のことも、生地のこともよく知らなかった」という中陳さんは、
およそ100年続く老舗家業の味と技を一から学ぶことになります。
2013年、代表取締役に就任。地域で長く愛される確かな味は
そのままに、アイデアが光る新たな商品開発に取り組んでいます。

「楽しい」と語る細工蒲鉾。
手さばきは鮮やか！

第72回全国蒲鉾品評会
「昆布巻蒲鉾」
農林水産大臣賞受賞

「うちの味」を守る

「老舗を継ぐといっても、はじめはそんな気負いのようなものはなかった（笑）。」少し照れながら、当時を振り返る中陳さん。県内外の蒲鉾メーカーで2年間修行してからの入社でした。「朝5時から立ちっぱなし、身体がきつかったですね。環境も変わったし、精神的に辛い時もありました。食事もあまり食べられなかったかな。」と語ります。

細工蒲鉾の技術は入社後、妻の父である会長から教わり、閉店後に特訓。会社員からの転身は、日々、一から学ぶことの連続だったとのこと。「富山の名産品として知られる蒲鉾ですが、実は各メーカーによって製造法や原材料に違いがあります。自社の坐り（※）は昭和40年代から続く独自のもの。厳選された原材料を活かしたうま味と食感、しなやかな造形が『うちの特徴』」と胸を張ります。

「原材料に妥協しないことは、会長の教え。昆布もすり身も価格高騰で厳しいなか、うちの味を守りながら会社を継続していかなくては。」と経営者の顔を見せました。

※坐りとは、蒲鉾を寝かせて弾力を出す工程。中陳さんの会社では通常より長く、一晩たっぷり寝かせています。

美味しさ×アイデア

従来のラインナップに加え、商品開発にも余念がない中陳さん。近年はネコの肉球をモチーフにした商品や、キャラクター弁当用のカラフルなシート状の商品がSNSで話題になりました。これまでにない斬新なアイデアがインパクトとなり、全国から注文が入り生産が追いつかないことも。

現在は来春開業予定の道の駅「KOKOくろべ」出店に向けて、新商品の試作中。「まず食べて美味しいこと、そして光るアイデア。より美味しいものを作って、もっとお客さんに喜んでもらいたい。それには、まだまだ美味しさを伝える努力が足りない。」と熱く語ります。

子どもたちにつなぐ故郷の記憶

中陳さんの会社は、市内の小学生のために、蒲鉾の絵付け体験を積極的に受け入れています。「子どもの頃の食の体験や記憶は大人になっても覚えているそうです。絵付け体験や、蒲鉾の味を子どもたちに伝える機会としたい。」と語りました。

長く親しまれてきた地域の味、蒲鉾。伝統を受け継ぎ、また次代につなげる努力を惜しまない姿がここにあります。

清らかな水と懐かしい風景に出会えるまち

北アルプスの雪解け水が地下水となる、海辺のまち生地（いくじ）は、まちのあちこちで清らかな湧き水となって地表に出てくる、水の恵み豊かなところです。この湧水を生地では「清水（しょうず）」と呼び、昔から飲み水や炊事、洗濯などに利用されてきました。生地地区だけでも約20箇所の清水があり、飲みくらべるといずれも異なる味を楽しめます。なお、この名水と漁村風景が楽しめることで人気の「生地まち歩き」は、黒部観光ガイド公式サイトで予約可能です。

清水めぐりで人気の生地まち歩き

▶公式サイト

※情報は2021年10月現在のため、一部変更の可能性があります。

黒部市民憲章

一、水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくります。
一、伝統に創意をかさね、個性のあるまちをつくります。
一、働くことを喜びとし、活力のあるまちをつくります。
一、思いやりの心を大切にし、温（ぬく）もりのあるまちをつくります。
一、世界の人々と交流を深め、魅力（みりょく）のあるまちをつくります。

広報くろべ特別連載
［○○×わたし］

File No. 03

来た船に楽しく乗る

［デュアルライフ×わたし］

一、働くことを喜びとし、活力のあるまちをつくります。

黒部市は、農林業、水産業、工業、商業、観光に、さまざまな可能性を秘めています。これらの産業をさらに発展させることはふるさとに生きるわたしたちの責務です。わたしたちは心と身体をきたえ、健康で働くことに喜びが感じられる、活力のあるまちを目指します。［働く喜び、産業の活性化］

ファスナーメーカー 執行役員総務部長

小林 聖子（こばやし きよこ）さん

群馬県出身の小林さんは、大学卒業後、東京本社で採用され、2000年9月から6年間、米国アトランタに勤務。帰国後は本社勤務を経て、2010年11月に製造拠点がある黒部市に転勤しました。同年、黒部商工会議所副会頭に就任（～2016年10月）。2016年11月に東京に戻るも、コロナ禍の2020年6月から黒部市にも住まいを持ち、黒部と東京のデュアルライフ（二地域居住）を送っています。

東京でも地域のイベントに積極的に参加。入社間もなく秘書についた役員と（2019年神田祭）

宇奈月モーツァルト音楽祭の受付ボランティアにて（後列左）すっかりお母さんたちとも仲良しに！

仕事はひとりではできない

東京のメーカーに入社して穏やかに始まった社会人生活は、その5か月後の異動で一変したと小林さんは振り返ります。役員の秘書となり「毎日何が起こるかわからない『スリルとサスペンス』の連続。でも、それが面白かった！」と、快活に笑います。

秘書の仕事はひとりでやることが多く、いつの間にか仕事を抱え込むタイプになっていたそう。その後転勤した米国アトランタで一緒に働いた上司や同僚に『自分ひとりでできることには限界がある』ことに気付かされ、周囲の力を借りて共に目標を達成する仕事の醍醐味を味わいました。

総務部長という役職にある現在でもこの経験が活かされています。「チームには、こだわる視点やゴールの共有を心がけています。スタッフは皆優秀で頼れる存在。私ひとりでやるよりもずっと早く良いものができます。私の役割はスタッフがその能力を最大限に発揮できるようにヒントを与えたり環境を整えたりすること。」と話します。

デュアルライフでいいとこ取り

2010年に黒部に転勤となった小林さん。黒部商工会議所の副会頭にも就任し、北陸新幹線開業に関連した取り組みに携わりました。市街地の整備開発が進み、新幹線開業で市全体が沸く様子に心が躍ったそうです。

一度は東京勤務に戻った小林さんですが、コロナ禍でもあり、昨年6月から黒部と東京でのデュアルライフ（二地域居住）を始めました。「黒部にないものは東京で、人との温かい交流や新鮮な海の幸を味わうなど東京では難しいことを黒部で楽しむ。いいとこ取りでとても贅沢です。」

今では黒部のお母さんたちから「たけのこご飯炊いたから取りに来っしゃい。」と声がかかるほど、小林さんの交流は深まっています。

「会社の仕事だけでは、ここまで黒部を楽しめなかったかも。」と黒部の人々の魅力を実感しています。

来た船に楽しく乗る！

小林さんにとって働く喜びを感じるのは、困難を乗り越えて目標を達成したときだとか。「働く環境や職務内容が変わるときには父に言われた『サラリーマンは来た船に乗るべし』の言葉通り、チャンスと受け止めてきた。悩みや不安もあったけど、新しいことに挑戦するワクワク感の方が大きかった。」そう語りながら、あふれ出る好奇心に瞳を輝かせました。仕事も人生も楽しんでいる姿は、まるで『働く冒険家』のようでした。

黒部市民憲章

一、水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくります。
一、伝統に創意をかさね、個性のあるまちをつくります。
一、働くことを喜びとし、活力のあるまちをつくります。
一、思いやりの心を大切にし、温（ぬく）もりのあるまちをつくります。
一、世界の人々と交流を深め、魅力（みりょく）のあるまちをつくります。

移住希望者必見！

友達づくりや地域とつながりたいなら！！
「KAYA DO！フリー」

毎月第2日曜日「パッシブタウン」を会場に、地域とつながりながら新たな楽しみを発見できるイベントです。誰でも気軽に参加でき、交流できる場として人気。通常は10時から15時まで、こだわりの品が並ぶマルシェや季節を楽しむワークショップなど、盛りだくさん！
お問合せ：KAYA DO！フリー実行委員会　☎090-1395-3399

▶公式サイト

※情報は2021年10月現在のため、一部変更の可能性があります。

顔が見える人のために

［安心できる暮らし×わたし］

黒部市
市制施行15周年記念

市民憲章
普及啓発企画

広報くろべ特別連載
［○○×わたし］

File No. 04

一、思いやりの心を大切にし、
温（ぬく）もりのあるまちを
つくります。

黒部市は、昔から人々のきずなを大切にする住みよいまちです。わたしたちは互いを思いやるとともに、きまりを守り、暮らしの環境をととのえて、お年寄りも子供も安心して健やかに暮らせる、温もりのあるまちを目指します。
【福祉の充実、快適な暮らし】

黒部市民病院　看護師

田中（たなか） 友世（ともよ）さん

黒部生まれ、黒部育ちの田中さんは富山大学を卒業後、東京医科歯科大学附属病院に看護師として就職。大学病院の職務に励み、6年後、祖父が病で倒れたことを機に、黒部にUターン。現在は黒部市民病院の看護師として生死を見つめる厳しい現場に立ちながら、2歳と4歳の子育てに奮闘する毎日を送っています。

患者さんの笑顔のための正確な報・連・相

石田浜で石ころ遊び。黒部の自然が織りなす恵みのすべてが遊び場に

東京では描けなかった人生のビジョン

「人の役に立つ仕事」を夢に抱いた看護師としての大学病院勤務は、仕事も私生活も刺激的だったと振り返ります。「独身なら東京は楽しいところでした。けれども、通勤の満員電車には、仕事をしながら結婚し、子育てしていく人生のビジョンは描けませんでした。」

東京の勤務も板についた6年目、祖父が病に倒れます。夜勤中、ふと「大切な人の看護もできず、自分は何をしているんだろう。」とジレンマを感じ、Uターンを決意します。「地元で働けば、知り合いやいずれは自分の親も看護できるかもしれない。黒部は名前を知らなくても挨拶し合うまち。顔が見える人を元気にできる喜びがここにはある。」と目を輝かせました。

自分が最期、どう迎えたいのか

現在田中さんが勤務する腎センターは、約50床を抱える富山県東部で最大の透析施設。「血液透析は1回に4時間かかるうえ、週3日通う必要があります。患者さんはもとより、サポートするご家族のご負担も大きい。最近は認知症を併発する患者さんが増えている。」と言います。市民病院では、国が『人生会議（※）』をすすめる流れで、事前に本人が延命治療を望むか否かを聞く『事前指示書』の運用を、昨年から始めました。「延命治療の選択を家族は悩むし、その決断は重すぎる。自分の最期を、どこでどう迎えたいか。一見触れがたいテーマですが、誰もが救われるためには大切な考え方。もっと世の中に広がって欲しい。」と願います。

※人生会議とは、人生の終末期にどのような医療やケアを受けるか事前に家族や医師などと話し合う「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」の愛称。

幸せを感じられる暮らし

看護に精通した田中さんでも初めての育児は苦労したと言います。「子育ての情報が手軽に集まる半面、情報どおりにいかず不安や不満が募り、ストレスになりました。」それを支えたのが『子育て支援センター』だったと言います。「声を大にして、みんなに勧めたい！ 施設には、専門職員がいて同世代の親子が集まります。周りの子供の成長や、家族以外の大人との何気ない会話で落ち着き、安心できました。待機児童のいない保育園も、安心して働けるひとつ。」と語りました。

いま田中さんには夢がもうひとつ。市民病院が独自に行う姉妹都市米国のメーコン・ビブ郡との医療交流プログラムに参加することです。「コロナ禍で現在事業が保留に。米国の医療や文化に触れて、もっと成長したい。」と、こぼれる笑顔に、住まう市民として頼もしい言葉でした。

黒部市民憲章

一、水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくります。
一、伝統に創意をかさね、個性のあるまちをつくります。
一、働くことを喜びとし、活力のあるまちをつくります。
一、思いやりの心を大切にし、温（ぬく）もりのあるまちをつくります。
一、世界の人々と交流を深め、魅力（みりょく）のあるまちをつくります。

家庭で子育て中の皆さま必見！どなたでも、お子さんとお気軽に！

黒部市子育て支援センター

親子の交流の場や、子育てに関する悩みごとを気軽に相談できる場として人気です。行事予定は広報くろべでご確認ください。

体重・身長測定

育児サロン・育児講座

子育て相談

▶黒部市子育て応援サイト

●黒部子育て支援センター　☎57-0485（メルシー2階）　●宇奈月子育て支援センター　☎65-2455（すこやかプラザ内）

※コロナ禍では、予約制で運営しており、各センターに事前に電話でご連絡のうえお越しください。

秘境から世界に思いを馳せる

［日本とは×わたし］

黒部市
市制施行15周年記念

市民憲章
普及啓発企画

広報くろべ特別連載
［○○×わたし］

File No. 05

一、世界の人々と交流を深め、魅力（みりょく）のあるまちをつくります。

黒部市は、国内外から多くの方々を受け入れています。黒部市が、訪れる人々の思い出に残るように、わたしたちはふれあいを大切にして交流を深めます。そして、ふたたび訪れたくなるような、魅力のあるまちを目指します。
［交流の場、もてなしの心］

旅館サービス業　専務取締役

はまだ　さとし
濱田　賢さん

東京都出身。映像制作会社勤務からの独立、起業。
その後、大手旅行会社での異業種経験と
キャリアを充実させていた濱田さん。
旅行先のフランスで出合ったゆるぎない文化の奥深さに
「本質に触れる仕事がしたい」と妻の実家である
宇奈月温泉の老舗旅館への思いを強くし、2015年にIターン。
上映交流会『宇奈月温泉ソーシャルシネマトリップ』運営、
宇奈月ガイドの会『ハートの台地』会員、
黒部舞台芸術鑑賞会実行委員、
宇奈月で舞台芸術を楽しむ会代表。

社会課題をテーマとした、映画鑑賞会のサロンを開催

茶道を通して和の心を学び、心を清らかに高める

新旧が気高く在る国フランス

映像業界に身を置き、そのおもしろさに没頭していた濱田さん。「大手クライアントから指名され信頼される誇り、ゼロから作り上げる楽しさと達成感…クリエイターとして魅了され全力を注いできました。」

そんな中、新婚旅行で訪れたフランスで、古さと新しさが気高く融合する街並みに衝撃を受けます。「すべてが美しく本物の輝きがあった。じゃあ『日本らしさ』とは何か。東京は変化が続くイミテーションの要素が多い街。もしかすると今まで追求してきたのは表面的なものだったのでは？と、疑問が湧いて…。」

折しも時は2011年3月、東日本大震災。未曽有の大災害を前に、「命をかけるほどの仕事をするなら、より本質に触れる仕事をしたい。」と、北陸新幹線開業の年、旅館業を通じて『日本とは、日本人とは何か』を追い求めることに決めました。

目に見えないものを感じとる

とはいえ、旅館の仕事はまったく未知の世界。映像制作で培った経験を直接は活かせません。裏方の仕事に汗を流し、目が回るほどの忙しさの中、濱田さんの心を捉えたのは黒部峡谷の豊かな自然美でした。「山彦橋がお気に入り。深い峡谷から吹き上げる風に、心が洗われる。風は大切なことに思いを馳せるよう導いてくれます。」

『旅館は日本文化を表現し、伝える場』との思いを強くし、2017年、温泉街の茶道裏千家『山崎社中』の門をたたきます。「『一番大切なのは相手を思いやる心。行動にも所作（しょさ）にも出る。目に見えないものを感じとることが大切』と、先生から言われ鳥肌が立った。旅館は人生の節目での利用が多い分その方の背景を想像して、最後のお見送りまで、心地よさをどう演出するかが重要。」と語りました。

地域と人の器でありたい

温泉に浸かり、豊かな自然を享受し、映画を観て想いを語らう場『宇奈月温泉ソーシャルシネマトリップ』を2018年に開始。「映画を観て秘境黒部で語らうことで、世界中を旅することができる。文化の違いを知り、日本人としてのアイデンティティを確かめることが、人への思いやり、おもてなしに繋がれば嬉しい。黒部が大好きだからこそ、旅館は地域、人との繋がりの器でありたい。」

関電黒部ルートの一般開放を2024年に控え、今後は「和食とアートに着目し、もっとかみ砕いて日本文化を広めたい。でも、勉強しても勉強しても日本文化は奥深いんですよね（笑）。」と、気品と風格の中に愛嬌も覗かせ、多彩な魅力をもつ、次世代を担うリーダーの一人です。

黒部市民憲章

一、水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくります。
一、伝統に創意をかさね、個性のあるまちをつくります。
一、働くことを喜びとし、活力のあるまちをつくります。
一、思いやりの心を大切にし、温（ぬく）もりのあるまちをつくります。
一、世界の人々と交流を深め、魅力（みりょく）のあるまちをつくります。

山・川・海のフィールドミュージアム

黒部を遊び尽くそう!!

黒部市は、日本有数の清流である黒部川を中心に、黒部奥山から黒部川扇状地、そして富山湾へと続く魅力に溢れたまちです。断崖絶壁の秘境を縫って走るトロッコ電車から眺める黒部川や、絶景と呼ぶにふさわしい原生林の山々、美肌の湯・宇奈月温泉、街のあちこちで清らかな水が湧く生地など、山・川・海のフィールドミュージアムへ是非お越しください。黒部旅の情報は、（一社）黒部・宇奈月温泉観光局へ。

▶公式サイト

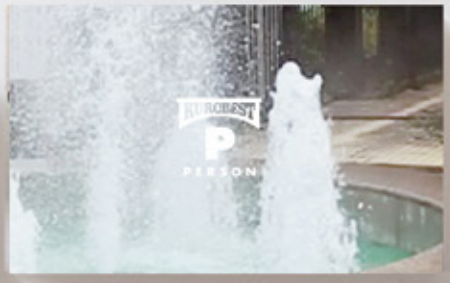
KUROBEST

P

PERSON

黒部をBESTに育てよう!
クロベストPROJECT
〈人物編〉

あなたと共に、黒部市で。



黒部市UIJターン 黒部で暮らす若きトップランナー［○○×わたし］